

09.24

THU

2026

16:35 – 18:05 5 限

東京女子大学 6 号館 6111 教室

物理を専門としない方も歓迎・入退室自由

クラゲの分類・ 生活史研究は 理論科学とつながるか？

CAN JELLYFISH TAXONOMY AND LIFE-HISTORY RESEARCH CONNECT WITH
THEORETICAL SCIENCE?

OPEN TO ALL



SPEAKER

三宅裕志

HIROSHI MIYAKE

北里大学海洋生命科学部環境生物学講
座水圏生態学研究室 教授**ABSTRACT** 概要

クラゲの分類や生活史の解明は、生物学の基礎研究として進められてきた。しかし、生活史データと海洋環境データを組み合わせた大量発生予測や、画像・動画を利用した機械学習による種判別・自動探索など、新たな研究展開が期待されている。本セミナーでは、クラゲはどういった生物なのかを紹介し、クラゲの生物学と理論科学・データ科学がどのような接点を持ち、新しい研究領域を切り拓けるのかを皆さんと一緒に考えたい。

海洋生物学

大量発生の予測

機械学習による種判別

海洋環境データ

本セミナーは文部科学省 AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業（SPReAD）採択課題「AI 支援階層ベイズ解析による精密物理諸量の tension 構造とメタ不確かさの分野横断的汎用評価」（研究代表者：尾田 欣也）の助成により開催しています。

